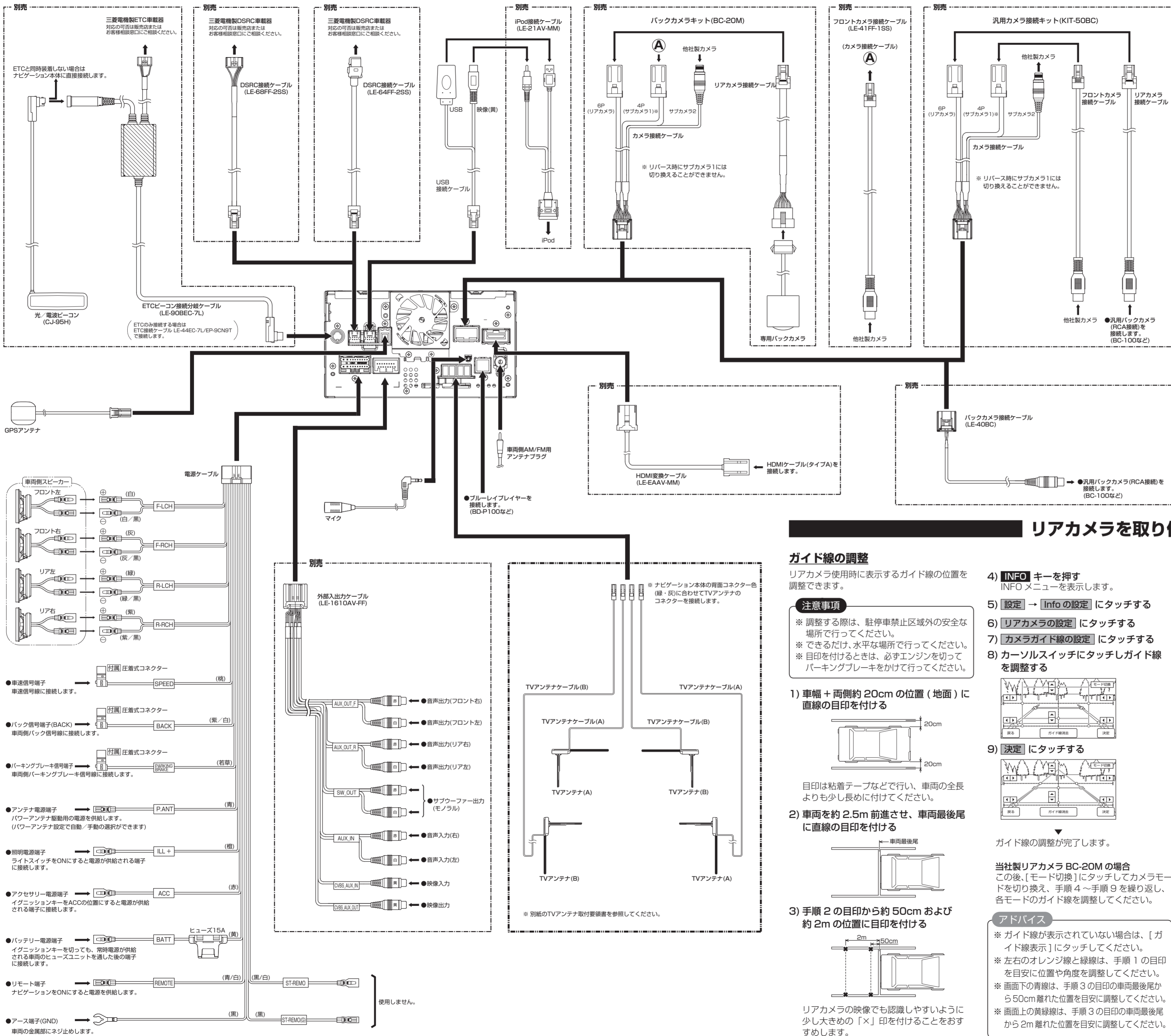


接続図



コネクタの脱着について

各コネクタ接続時は確実に奥まで差し込んでください。また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

圧着式コネクタの使いかた

- 1) 車両側信号ケーブルから信号を取り出す位置を決め、圧着式コネクタ内に通す
- 2) カバー①を折り返し、指でパチンと音がするまで確実に押し込む。信号線(電源ケーブル)の先端を圧着式コネクタに差し込む(側面に当たるまでケーブルを差し込んでください)
- 3) 上面の金具をプライヤーなどではさみ込み、車両側信号ケーブルと信号線(電源ケーブル)を固定する(ケーブルが外れないように確実に固定してください)
- 4) カバー②を折り返し、指でパチンと音がするまで確実に押し込み閉じます。

リアカメラを取り付けた場合の設定

ガイド線の調整

リアカメラ使用時に表示するガイド線の位置を調整できます。

注意事項

- ※ 調整する際は、駐車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- ※ できるだけ、水平な場所で行ってください。
- ※ 目印を付けるときは、必ずエンジンを切ってパーキングブレーキをかけて行ってください。

- 1) 車幅 + 両側約 20cm の位置 (地面) に直線の目印を付ける
- 2) 車両を約 2.5m 前進させ、車両最後尾に直線の目印を付ける
- 3) 手順 2 の目印から約 50cm および約 2m の位置に目印を付ける

目印は粘着テープなどで行い、車両の全長よりも少し長めに付けてください。

※ 別紙のTVアンテナ取付要領書を参照してください。

- 4) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 5) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 6) **リアカメラの設定** にタッチする
- 7) **カメラガイド線の設定** にタッチする
- 8) カーソルスイッチにタッチしガイド線を調整する
- 9) **決定** にタッチする

ガイド線の調整が完了します。

当社製リアカメラ BC-20M の場合
この後、[モード切換]にタッチしてカメラモードを切り換え、手順 4～手順 9 を繰り返し、各モードのガイド線を調整してください。

アドバイス

- ※ ガイド線が表示されていない場合は、[ガイド線表示]にタッチしてください。
- ※ 左右のオレンジ線と緑線は、手順 1 の目印を目安に位置や角度を調整してください。
- ※ 画面下の青線は、手順 3 の目印の車両最後尾から 50cm 離れた位置を目安に調整してください。
- ※ 画面上の黄緑線は、手順 3 の目印の車両最後尾から 2m 離れた位置を目安に調整してください。

レーンアシストの設定

カメラの取付環境の入力や映像などの補正が行えます。

- 1) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 3) **レーンアシストの設定** にタッチする
- 4) [取付カメラ設定]の**未実施**にタッチする
※ 2 回目以降の設定では [設定済み] にタッチしてください。
- 5) “設定する項目”にタッチする
- 6) **決定** にタッチする
- 7) [レーンアシスト]の**使用する**にタッチする
- 8) **決定** にタッチする

カメラの設定が完了し、[未実施]から[設定済み]に変わります。

レーンアシストの設定が完了します。

設定内容について

カメラ設置位置: 高さ*	地面からカメラレンズの中央までの高さを入力します。50 ~ 200cm の範囲で入力できます。(工場出荷時は 100cm)
カメラ設置位置: 左右位置**	車両幅の中心を 0 としたカメラの中心までの距離 (ズレ) を設定します。- 125 ~ 125cm の範囲で入力できます。車両進行方向に向かって “+” が右側 “-” が左側になります。(工場出荷時は 0cm)
カメラパラメータ A カメラパラメータ B カメラパラメータ C カメラパラメータ D	※ 各値は、三菱電機ホームページで公開しています。
車幅	自車の車幅 (車検証の値) を設定します。100 ~ 250cm の範囲で入力できます。(工場出荷時は 169cm)


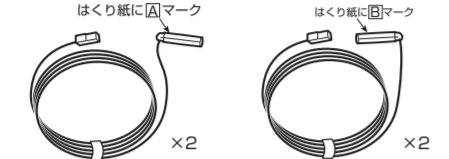
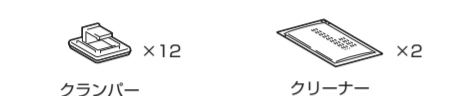
* 1 以下の設定範囲でレーンアシストを動作させることを推奨します。
高さ: 70cm 以上、左右位置: ± 30cm 以内
実際のカメラ設置位置が上記の推奨設定範囲内に収まらない場合は、レーンアシストが正常に動作しない恐れがあります。

ご注意とお願い

- 取付および接続作業の前に別冊の取扱説明書「お客さまへ安全上のご注意」をお読みください。
- 本書をよくお読みの上、正しい取付および接続を行ってください。
- 作業終了後、お客さまへ本取付要領書をご返却ください。

同梱物リスト

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。

TV アンテナ (A)(B) 	TV アンテナケーブル (A)(B) 
クランパー、クリーナー 	

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3(東京ビル)
N871L69940 2/2 14-07(A2)

① TV アンテナ貼り付け作業前のご注意

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
 - **車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。**
 - ◇ 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
 - ◇ 車室内に取り付ける TV アンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
 - **必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。**
 - ◇ 保安基準^{※①}に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けください。
 - ◇ 本製品はフロントウィンドウ専用です。車体の側面(ドアやフロントクォーターウィンドウなど)や、後面(リアウィンドウ)に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
 - ◇ TV アンテナ表面保護用フィルムをはがした後、TV アンテナ貼付面には手を触れないでください。指紋やゴミが付着し、粘着力が低下します。
 - ◇ TV アンテナを接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- ※① 保安基準は、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付の運輸省(当時)告示第 820 号をいいます。

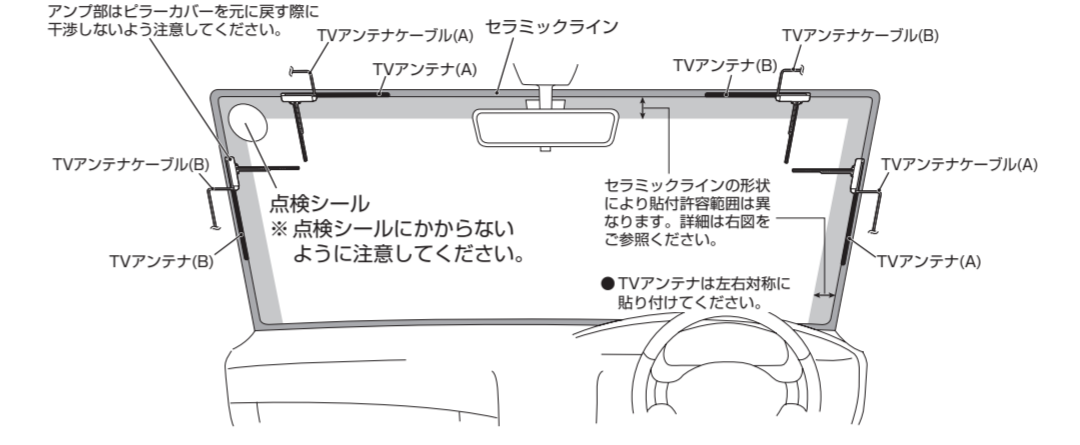
注意事項

一度貼り付けてはがすと、粘着力が弱くなるため貼り直しができません。
必ずケーブルおよび TV アンテナを仮止めし、ケーブルの配線などを十分に検討してから貼り付けてください。

② TV アンテナの貼り付け位置について

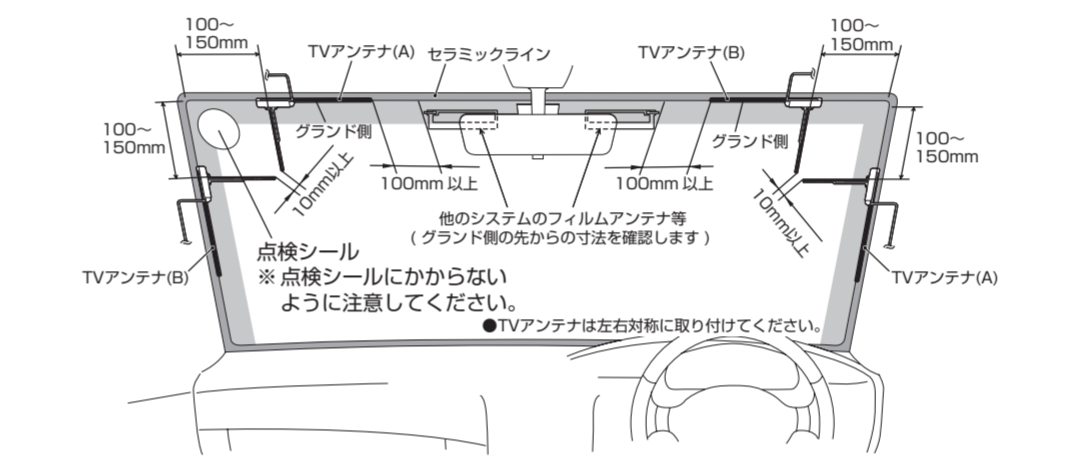
- 保安基準に適合させるため、また性能を十分発揮するために、アンブ部は必ず貼付許容範囲内の位置に貼り付けてください。
- 検査標章や点検シールと重ならないように貼り付けてください。
- 貼付許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らない場合や、整備不良の対象となる場合があります。

TV アンテナ貼付位置概要



他のアンテナと同時装着する場合

- 他のシステムのアンテナなどと同時装着する場合は、他のアンテナを 100mm 以上離して貼り付けてください。接近して貼り付けますと、受信感度が悪くなる恐れがあります。



③ TV アンテナの貼り付けかた

- 1) 貼付部分を付属のクリーナーできれいにする
- 2) 貼付部分を乾拭きする
貼付部分は完全に乾いた状態にしてください。

注意事項

- ※ 貼付部分が乾いていないと、アンテナ線が密着しません。
- ※ クリーナーは必ず付属のクリーナーを使用してください。界面活性剤入りのクリーナーを使用すると TV アンテナが貼り付かなくなります。
- ※ 冬場などはガラス面の結露などの水分をよく拭き取り、ガラス面、TV アンテナ自体を暖めてから作業を開始してください。

- 3) タグⅠを持ち、グラウンド側方向にセパレーターをゆっくりとはがす

注意事項

- ※ セパレーターを急にはがすと、グラウンド線を断線することがあります。また、極端にゆっくりはがすと、セパレーター側に残る原因となります。
- ※ セパレーターをはがすときは、強く折り曲げたりしないでください。
- ※ セパレーターをはがした後に、グラウンド線に触れたり、ものを当てたりして皮脂やホコリを付けないでください。

- 4) TV アンテナ(グラウンド側)を取付部分に貼り付ける

あらかじめテープなどでマーキングした位置にアンテナ(グラウンド側)を貼り付けます。



- 5) タグⅡを持ち、アンテナ側方向にセパレーターをゆっくりとはがしながら、給電部側より徐々に指などでアンテナ部分を押し上げて貼り付ける

注意事項

- ※ セパレーターをはがしながら、アンテナ線を貼り付けます。途中で作業を止めたり、押さえる力を緩めたりすると、貼付面が白く濁る場合があるので十分注意して作業を行ってください。

- 6) アンテナ線、グラウンド線をフィルムの上から念入りに押し付けて貼付面に密着させる
アンテナ線、グラウンド線をなぞるように強く押しつけて気泡が残らないように密着させてください。

注意事項

- ※ 押し付けが足りないと、アンテナが浮く場合や、はがれる原因となる場合があります。

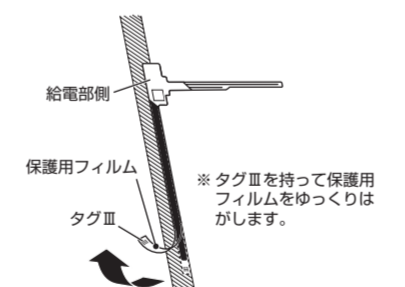
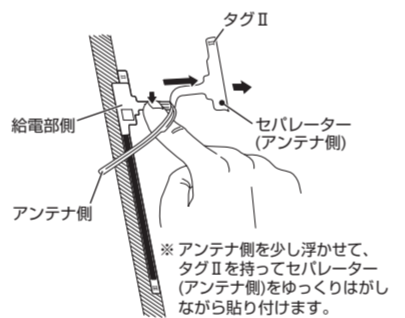
- 7) タグⅢを持ち、グラウンド側方向から保護用フィルムをゆっくりとはがす

アンテナ線、グラウンド線が確実に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりとはがします。



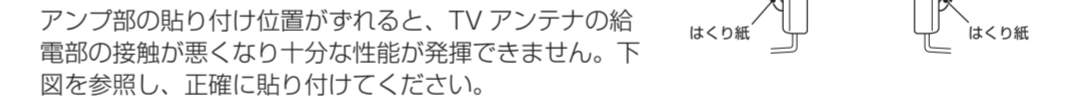
注意事項

- ※ タグⅢ部分以外からはがしたり、急にはがしたりしないでください。アンテナ線やグラウンド線が断線する原因となります。
- ※ TV アンテナの給電部には触れないでください。錆(さび)の原因となります。
- ※ TV アンテナ貼り付け直後(3時間以内)は貼り付けた TV アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、TV アンテナの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、時間に関わらず、TV アンテナ上を直接拭くときは柔らかい布などを使用し、TV アンテナが傷付かないよう注意してください。



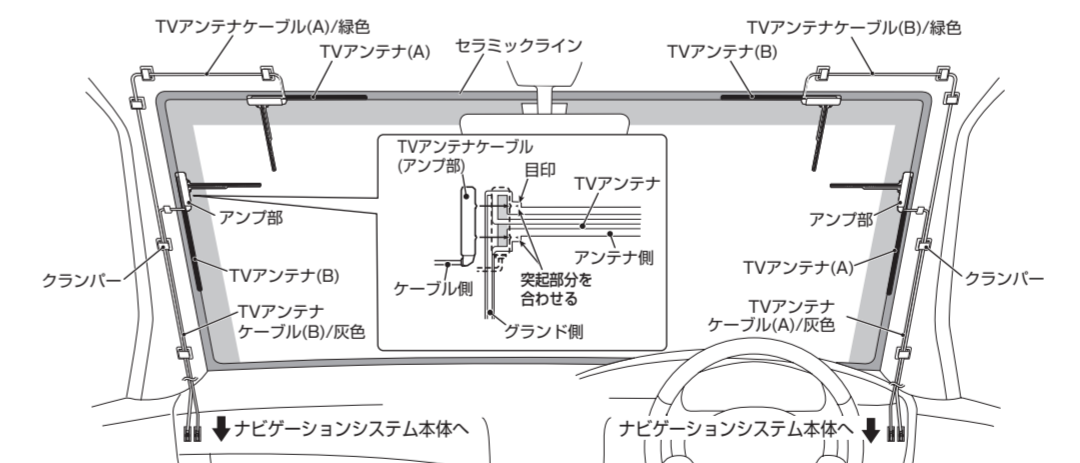
④ TV アンテナケーブルを配線する

- 1) TV アンテナケーブルのアンブ部のはくり紙をはがす
- 2) アンブ部の突起部を、TV アンテナの目印に合わせて貼り付ける



注意事項

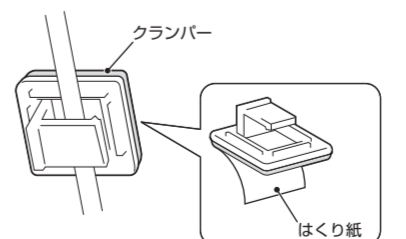
- ※ アンブ部がしっかりと貼り付くように、TV アンテナの給電部の周りをもう一度乾いた布などできれいに拭いてください。
- ※ アンブ部付近は、無理に引っ張ったり、折ったり、ねじるなど絶対にしないでください。



- 3) クランパーで TV アンテナケーブルを固定する

各 1ヶ所はクランパーで TV アンテナケーブルのアンブ部に近い位置で固定してください。残ったクランパーで要所を固定しながら配線を引き回してください。

- 4) 内装(ピラーカバー・ルーライニング)を元通りに取り付ける



⑤ 接続確認のしかた(動作チェック)

- 1) 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを <ACC> または <ON> にする

- 2) miniB-CAS カードを入れる

- ① ▲ キーを押し [モニター OPEN] にタッチする
パネルが開きます。
- ② miniB-CAS カードを挿入する
ロックを外し、miniB-CAS カードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。

- ③ ロックする

注意事項

ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

- ④ ▲ キーを押しパネルを閉じる

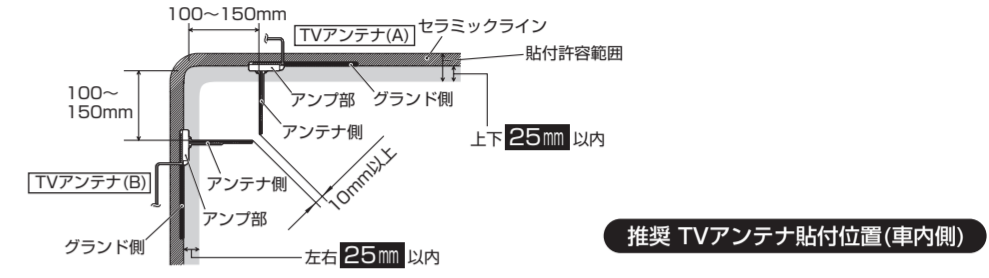
注意事項

- miniB-CAS カードはパッケージを開封することで「B-CAS カード使用許諾約款」に同意したとみなされます。お客さまに確認の上、本機に miniB-CAS カードを挿入していただきますようお願いいたします。
- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- 画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

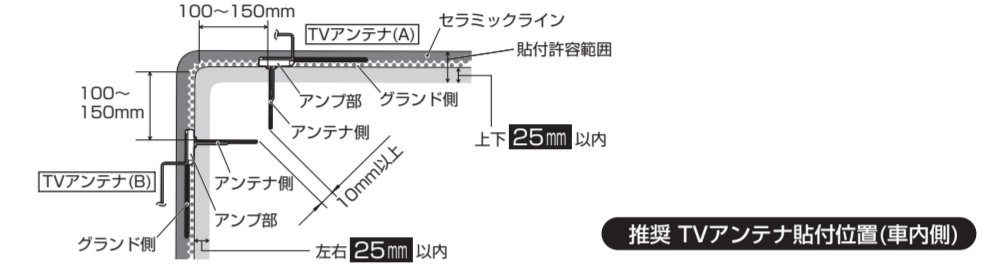
- 3) ソースを TV に切り換える

- 4) 初期設定を行い、地上デジタル放送が受信できることを確認する
初期設定については「取扱説明書」をご参照ください。

セラミックライン(ドットパターン無し)の境界がある場合



セラミックライン(ドットパターンあり)の境界が無い場合



セラミックラインが無い場合

